

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年05月11日

事務事業名	環境保全センター管理事業				担当	産業環境部	環境課	環境保全センター
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-3353		
施策名	3	廃棄物の抑制と適切な処理			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名								
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 真岡市環境保全センター設置条例					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	2.清掃費	2.塵芥処理費	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度～)			
事業概要	昭和47年に真岡市と二宮町で組織する、一部事務組合(真岡・二宮地区清掃事務組合)を設立し、両市町のごみ処理を実施していたが、最終処分場がないため、焼却灰は県外持出し処理をしていた。 平成4年4月に当組合で最終処分場を建設(竣工)し、焼却灰及び不燃残渣等の埋立を開始した。 平成21年3月23日に真岡市と二宮町が合併し、真岡市となったため、当組合は、合併の前日に解散し、真岡市で管理運営することになった。 また、当時の埋立年数は、10年で完了予定であったが、ごみの資源化が進みまた焼却灰が減少したため、平成13年に地元との協議により、埋立期間を10年から20年に延長し、現在に至っている。		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・焼却灰等の最終処分は、「廃棄物の抑制と適正な処理」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・一般廃棄物の最終処分は、市町村の事務事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・真岡市の焼却灰のみ埋立を実施しているため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・適切な管理運営を実施しているため、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・効率的な焼却灰の処分が不可能になる
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の経費で、効率的な維持管理に努めている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の人数で管理運営を実施している
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・真岡市民及び市内事業所が、排出したごみの焼却灰等を、全量埋立てている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		